



◆◆◆ やしお文芸特集 ◆◆◆

短歌 沖 ななも 選

秋の陽が一気に部屋に差し込みて
葦簀を外す夫の見ゆる

田中祐子

(評) 秋に陽がさつと差し込んで来たと思つたら、夫が葦簀を取り外している。こうして季節が移っていくのである。

姿なき鳥の歌声聞きながら
初夏の川原を自転車に行く

鈴木宏子

(評) どこからか鳥の声を川原を自転車で行く。初夏の爽やかさが体を通してあらわされている。

思うことすぐに口にして婆ちゃん
生き辛いでしよと孫は図星だ

富田啓子

人影に鯉は口開け鳥は逃げ
池は広々水たたえおり

種村幸子

稲の穂も実る林檎も見ゆると言う
臥す友は弱くわが手握りぬ

高谷多門

霊場をはじめて詣でるたかなりに
観音様よみちびきたまえ

新井てる子

(総評) 応募の歌には季節、世相、家族など、人が生きていくうえで
のさまざまな事柄が詠われている。これが人生と思える歌だった。歌
が奏でる音楽のようなものが全編に漂っていたように思う。

俳句 落合 水尾 選

曼珠沙華見渡す限り曼珠沙華

高橋さくい

(評) 赤い曼珠沙華の花が群がり、日高の巾着田では五百万本咲き広
がると言われます。その感動の大きさを直接的に表現しています。鮮
やかさが印象的です。

秋深むこの人生に万歩計

辻征夫

菊花展魂全部ひびかせて

小金丸美智子

天高し散歩の靴も新しき

小倉義孝

廃屋はその奥にあり芒原

横山英道

友情に病癒やされ日輪草

中村智代子

剣玉のスカイツリーに月の玉

井上進寿

夕暮れに待ちくたびれて紅葉かな

長柴大誠

(総評) 17歳から87歳までの投稿がありました。俳句は爽やかな表現
を求めます。あっさりとして深く表現したいものです。詠みたい対象をよ
く見つめてふところ深く表現するようにします。懐かしさと優しさ。
その余情を楽しみましょう。

今後のやしお文芸特集の募集は、随時広報紙でお知らせします。

平成26年度コミュニティ助成事業

鶴ヶ曾根(二)町会では、財団法人自治総合センターが実施している宝くじ助成を受けて、空調設備やテント、テーブルなどを購入しました。

なお、購入した備品などは、町会のコミュニティ活動で使用します。



☎市民協働推進課 ☎(内) 4 6 5

パルコ通り商店会 「設立40周年記念歳末大売り出し」開催

パルコ通り商店会は設立40周年を迎えます。地域の皆さんにもっと商店会を知っていただくため、国の「地域商店街活性化事業(にぎわい補助金)」を活用し、40周年記念事業を開催します。

☐12月1日(月)～13日(土)

☒パルコ通り商店会

☒▼パルコ通り商店会設立当初の街並みの模型と写真の展示

▼福引大売り出し▼福引抽選会(13日 午前11時～午後7時)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

☎商工観光課 ☎(内) 4 7 9

いきいきやしお写真館

花づくりは土づくりから



10月18日、八幡公民館で「花とみどりの園芸教室」が開かれ、14人が参加しました。

きれいな花を咲かせるためには「土づくり」が重要なので、シートに土や肥料などを広げて、丁寧に均一に混ぜていました。次に、花々の配置を決めながら鉢植え用の鉢に混ぜた土を入れていき、色とりどりの寄せ植えが完成しました。

参加者は、「初めて知ったことがたくさんあり、また参加したいです」「手入れの仕方の相談にのってもらえたり、植物が美しく見えるバランスなどを教えていただいて良かったです」と、楽しそうに話していました。

平安の昔語り



10月17日・24日、八幡公民館で、文学歴史講座「平家物語を読む～平重盛の生と死」が開催され、30人が参加しました。

この講座は、平清盛と重盛の親子が、どのような心の葛藤を繰り返しながら時代を生き抜いたのか、平安文学の専門家とともに『平家物語』を読み解いていくものです。

参加者は、『平家物語』の原文や現代語訳、平氏の系図などを読み、講師の説明に深くうなずいていました。

また、「もう少し詳しく学んでみたい」などの熱心な感想も寄せられました。

この広報紙は、再生紙と大豆インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、一部のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、12月10日(水)です。